

令和2年度

水道事業会計決算附属書類

# 令和2年度秦野市水道事業報告書

## 1 概況

### (1) 総括事項

令和2年度は、秦野市水道事業計画（平成28年度～令和7年度）の5年目であり、「はだの水道ビジョン」に掲げた将来像「おいしい秦野の水をいつまでも」の実現に向け、安全でおいしい水の安定供給を図るため、水質管理や自己水源の確保、管路の耐震化、災害時対策の推進などの事業を行うとともに、健全経営維持のための経営努力を重ねてきました。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、事業者からの有収水量は減ったものの、一般家庭の有収水量が大幅な増となったため、前年度より18万7,647立方メートル、1.03パーセント増加しました。しかしながら、令和2年6月から4か月間、基本料金の全額に従量料金分の10パーセントを上乗せした額を減じた措置を講じたことにより、給水収益は前年度に比べて約2億9,000万円の減収となりました。

このことにより、一般会計からの一部補助は受けたものの、コロナ対策措置として事業の執行停止をしたことなどにより営業費用が増加し、営業損失は、前年度比約8,000万円増と拡大しました。しかしながら、水道利用加入金が増となるなど、営業外収益の落ち込みが少なかったことにより、純利益は、前年度比約9,500万円、46.56パーセント減の1億912万1,360円となりました。

策定から10年が経過した「はだの水道ビジョン」を令和元年度と2年度の2か年をかけて見直し、令和3年度を始期とした新たな総合計画と連動する「はだの上下水道ビジョン—秦野の上下水道の「今まで」と「これから」—」を策定しました。今後も、経営環境が厳しさを増していくことを踏まえ、中長期の経営状況を見通して、事業の健全経営を維持できるように進めてまいります。

ア 経営の状況（（ ）内は、消費税及び地方消費税を含んだ額）

#### (ア) 収益的収支

収益的収入及び支出は、収益が24億3,960万2,717円（26億4,545万7,040円）、費用が23億3,048万1,357円（24億7,021万3,152

円) で、1 億 912 万 1,360 円の純利益となりました。

収益の主なものは、水道料金 19 億 795 万 5,237 円(20 億 9,856 万 5,819 円)、長期前受金戻入 2 億 454 万 4,174 円、水道利用加入金 1 億 2,002 万 5,000 円(1 億 3,202 万 7,500 円) で、収益全体の 91.51 パーセントを占めています。

一方、費用の主なものは、減価償却費 8 億 6,234 万 7,326 円、県水受水費 4 億 8,586 万 6,436 円(5 億 3,445 万 3,070 円)、委託料 2 億 1,520 万 7,570 円(2 億 3,655 万 9,521 円)、職員給与費 2 億 385 万 9,258 円(2 億 400 万 9,577 円) で、費用全体の 75.83 パーセントを占めています。

なお、1 立方メートル当たりの給水原価は 114 円 53 銭、供給単価は 103 円 25 銭でしたので、11 円 28 銭の販売損失が生じています。

#### (イ) 資本的収支

資本的収入及び支出は、収入が 5 億 6,336 万 655 円(5 億 6,337 万 9,255 円)、支出が 13 億 5,012 万 5,644 円(14 億 2,518 万 9,012 円) となりました。

この収入額と支出額の差 8 億 6,180 万 9,757 円(税込額) は、企業会計のルールに従い、過年度分損益勘定留保資金などで補いました。

また、本年度末における企業債の未償還残高は、69 億 2,124 万 2,508 円で、前年度に比べ 6,230 万 6,130 円減少しています。

#### イ 給水の状況

令和 2 年度末の給水戸数は 7 万 8,288 戸で、前年度に比べ 277 戸の増加、給水人口は 16 万 3,866 人(松田町分 154 戸、316 人を含む。)となり、768 人減少しました。

水道普及率は、前年度に比べ 0.01 ポイント増の 99.89 パーセント、総給水量は 1,977 万 5,665 立方メートルで、前年度に比べ 23 万 7,386 立方メートル、1.21 パーセント増加しました。1 日平均の給水量は、5 万 4,180 立方メートル、1 日最大給水量は、6 月 17 日の 6 万 173 立方メートルでした。

県水受水量は 461 万 5,870 立方メートルで、給水量の 23.34 パーセントとなり、前年度より 7.88 パーセント増加しました。

また、年間有収水量は、1,847 万 8,166 立方メートルで、前年度に比

べ 18 万 7,647 立方メートル、1.03 パーセントの増、有収率は、0.17 ポイント下降し、93.44 パーセントとなりました。

#### ウ 主な事業成果

##### (ア) 原水浄水費

水道水源の約 8 割を占める地下水と河川水、いわゆる自己水と、約 2 割となる県水についても塩素投入量を調整して、水道使用者に対して、「安全でおいしい水」の供給に努めました。

##### (イ) 配水給水費

約 700 キロメートルに及ぶ配水管等を適切に維持管理し、計画的な漏水調査の実施に努め、漏水が発生した場合は迅速に対応して、安定給水を実施しました。

##### (ウ) 総係費

秦野水道創設 130 周年記念事業として、秦野水道の P R 及び水需要の喚起を促進しました。

また、創設 130 周年を契機として、土木学会選奨土木遺産に応募し、「秦野・曾屋水道施設群」として認定されました。

##### (エ) 建設改良費

建設改良事業については、「水道施設整備計画」に基づき事業を進めています。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う水道料金収益の減少が見込まれたことから、事業執行の見直しを行い、導水管送水管耐震化事業 1 件、配水管改良事業 2 件、幹線管路耐震化事業 1 件、合計 4 件の工事について執行を見送りました。

そのため、施設整備計画における年次計画では、やや進捗に遅れが生じましたが、生活基盤施設耐震化等交付金を活用して幹線管路（県水送水ルート）の更新を行うとともに、未使用管路の廃止や新東名高速道路築造に伴う水道管路の布設替え等により耐震性能を有する管路の延長が増加したため、管路の耐震化の指標である基幹管路の耐震化率目標を達成することができました。

令和 2 年度末の管路の耐震化率は、基幹管路で 45.0 パーセントとなり、配水管を含めた全水道管路は 24.9 パーセントとなりました。

##### ○ 導水管送水管耐震化事業

落合地区などで進めた 4 件の工事により、約 990 メートルの管路

を耐震性のあるものに布設替えをしました。

○ 配水管改良事業

千村三丁目地区などで進めた 11 件の工事により、老朽化した配水管約 1,980 メートルを耐震性のあるものに布設替えをしました。

○ 配水管拡張事業

今泉地区で進めた 1 件の工事により、新たに約 70 メートルの配水管を布設しました。

○ 幹線管路耐震化事業

4 件の工事により、二太子送水ポンプ場からの送水管等約 700 メートルの改良を進めました。

○ 水道施設整備事業

緊急時対策として金井場配水場受変電設備の更新、下河原取水場取水ポンプ等の更新などを実施したほか、災害用給水拠点整備として千村配水場に給水車給水拠点の整備、落合配水場に発電設備の整備を行いました。

○ 第 5 次拡張整備事業

自己水の有効利用を行うため、南地区の新たな水源として、芹沢取水場の造成工事を行いました。

(2) 議会議決事項

議案番号	件名	提出年月日	議決年月日
令和2年 議案第43号	令和元年度秦野市水道事業会計決算の認定について	令和 2. 9. 7	令和 2.10. 6 (認定)
令和3年 議案第2号	令和3年度秦野市水道事業会計予算を定めることについて	令和 3. 2.26	令和 3. 3.26
令和3年 議案第19号	秦野市水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正することについて	令和 3. 2.26	令和 3. 3.26
令和3年 議案第27号	令和2年度秦野市水道事業会計補正予算（第1号）を定めることについて	令和 3. 2.26	令和 3. 3. 5

(3) 行政官庁認可（許可）事項

申請先	件名
国土交通省関東地方整備局長 (横浜国道事務所)	国道占用許可申請（1件）
神奈川県知事 (平塚土木事務所)	県道占用許可申請（1件）
	砂防指定地内制限行為許可申請（1件）
	行政財産使用許可申請（1件）

※ 継続申請は、除く。

## (4) 職員に関する事項

(単位 人)

区 分		令和2年度	令和元年度	増 減
損益勘定 支弁職員	事務職員	13 (5)	11 (5)	2 (0)
	技術職員	7 (1)	7 (1)	0 (0)
	技能員	6 (0)	7 (0)	△ 1 (0)
	計	26 (6)	25 (6)	1 (0)
資本勘定 支弁職員	事務職員	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	技術職員	9 (0)	8 (0)	1 (0)
	技能員	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	計	9 (0)	8 (0)	1 (0)
合 計		35 (6)	33 (6)	2 (0)

※ 年度末現在の人員を記載。

( ) は、再任用短時間勤務職員及びパートタイム会計年度任用職員。

ただし、令和元年度は再任用短時間勤務職員及び臨時職員等を記載。

## (5) 料金その他供給条件の設定、変更に関する事項

該当事項なし

## 2 工 事

### (1) 建設、改良工事の概要

(事業費 2,000万円以上)

事業名	工事名及び施工内容	事業費	着工年月日	完成年月日
導水管送水管耐震化事業費	戸川猿渡導水管改良工事 (令和元年度建設改良繰越) ダクタイル鋳鉄管 口径 200mm 延長 46.6m 配水用ポリエチレン管 口径 200mm 延長 84.7m 鉄筋コンクリート管 口径 400mm 延長 23.2m 路面復旧工 1式	46,022,779 円 うち令和2年度執行額 46,011,900 円	令和元.11.13	令和3.3.17
	柳川不動山導水管及び配水管改良工事 (導水管) 配水用ポリエチレン管 口径 100mm 延長 123.3m (配水管) ダクタイル鋳鉄管 口径 200mm 延長 129.5m 路面復旧工 1式	28,841,904 円 うち導水管改良工事分 8,823,052円 うち配水管改良工事分 20,018,852円	令和2.7.6	令和2.11.27
	落合大久保導水管改良工事 配水用ポリエチレン管 口径 150mm 延長 571.3m 路面復旧工 1式	31,322,953 円	令和2.7.8	令和2.12.2
	堀山下大倉送水管改良工事 ダクタイル鋳鉄管 口径 100mm 延長 6.7m 配水用ポリエチレン管 口径 100mm 延長 146.1m 既設管撤去工 口径 100mm 延長 145.0m 舗装復旧工 1式	27,294,426 円	令和2.11.2	令和3.2.26
	配水管改良事業費	渋沢三丁目配水管改良工事(第1工区) ダクタイル鋳鉄管 口径 75mm 延長 311.2m 給水管工 口径 20~25mm 41箇所 路面復旧工 1式	30,555,554 円	令和2.8.5
	南が丘一丁目配水管改良工事 ダクタイル鋳鉄管 口径 200mm 延長 240.0m 路面復旧工 1式 付帯工 1式	26,851,370 円	令和2.9.14	令和3.1.22
	南矢名四丁目配水管改良工事 ダクタイル鋳鉄管 口径 300mm 延長 20.5m ステンレス鋼鋼管 300mm 延長 21.2m 給水管工 口径 20mm 1箇所 付帯工 1式 舗装復旧工 1式	20,924,200 円	令和2.9.30	令和3.3.12
	菖蒲天神下配水管改良工事 (B箇所) ダクタイル鋳鉄管 口径 100mm 延長 530.3m ダクタイル鋳鉄管 口径 75mm 延長 1.5m 付帯工 1式	49,280,000 円	令和2.10.15	令和3.2.26



(事業費 2,000万円以上)

事業名	工事名及び施工内容	事業費	着工年月日	完成年月日
	沼代新町配水管改良工事 ダクタイル鋳鉄管 口径 200mm 延長 119.9m ダクタイル鋳鉄管 口径 100mm 延長 15.4m ダクタイル鋳鉄管 口径 75mm 延長 23.3m 給水管工 口径 20~40mm 16箇所 路面復旧工 1式	28,297,256 円	令和2.11.17	令和3.3.30
	千村三丁目配水管改良工事 ダクタイル鋳鉄管 口径 150mm 延長 2.8m ダクタイル鋳鉄管 口径 100mm 延長 223.1m 給水管工 口径 20~25mm 20箇所 路面復旧工 1式			
幹線管路 耐震化事 業費	下大槻岩井戸送水管改良工事 ダクタイル鋳鉄管 口径 600mm 延長 144.0m 準備工 1式 土工 1式 仮設工 1式 舗装復旧工 1式	31,626,078 円	令和2.9.14	令和2.11.30
	下大槻穴見堂送水管改良工事 ダクタイル鋳鉄管 口径 500mm 延長 187.0m ダクタイル鋳鉄管 口径 200・100mm 延長 6.8m 準備工 1式 土工 1式 仮設工 1式 舗装復旧工 1式			
	下大槻峰の下送水管改良工事 ダクタイル鋳鉄管 口径 600mm 延長 78.7m ダクタイル鋳鉄管 口径 500mm 延長 92.3m ダクタイル鋳鉄管 口径 300mm 延長 9.1m 舗装復旧工 1式			
緊急時対 策施設整 備事業費	金井場配水場電気設備更新工事 受変電設備 1式 直流電源設備 1式 既設設備機能増設 1式 据付、配線配管、撤去、建築改修工事等 1式	87,890,000 円	令和2.6.10	令和3.2.26
第5次拡 張整備事 業費	芹沢取水場整地工事 伐採工 1式 電気機械設備撤去 1式 支障物撤去 1式 土工 1式 雨水管設置工 1式 路面復旧工 1式	25,456,200 円	令和2.10.14	令和3.3.16

※ 事業費＝工事請負費＋負担金（路面復旧監督事務費）

3 業 務  
 (1) 業務量

事 項	令和2年度	令和元年度	比 較		
			増 減	比 率	
行政区域内人口 (A)	163,736 人	164,498 人	△ 762 人	99.54 %	
行政区域内人口 (B)	164,052 人 (うち、松田町 316人)	164,824 人 (うち、松田町 326人)	△ 772 人	99.53 %	
年度末給水人口	163,866 人	164,634 人	△ 768 人	99.53 %	
普 及 率	99.89 %	99.88 %	0.01 <small>ポイ ント</small>		
給 水 戸 数	78,288 戸	78,011 戸	277 戸	100.36 %	
給 水 量	年 間	19,775,665 m <sup>3</sup>	19,538,279 m <sup>3</sup>	237,386 m <sup>3</sup>	101.21 %
	1 か月平均	1,647,972 m <sup>3</sup>	1,628,190 m <sup>3</sup>	19,782 m <sup>3</sup>	
	1 日 平 均	54,180 m <sup>3</sup>	53,383 m <sup>3</sup>	797 m <sup>3</sup>	
1 日最大給水量	令和2年6月17日(水) 60,173 m <sup>3</sup>	令和元年7月31日(水) 58,608 m <sup>3</sup>	1,565 m <sup>3</sup>	102.67 %	
有 収 水 量	年 間	18,478,166 m <sup>3</sup>	18,290,519 m <sup>3</sup>	187,647 m <sup>3</sup>	101.03 %
	1 か月平均	1,539,847 m <sup>3</sup>	1,524,210 m <sup>3</sup>	15,637 m <sup>3</sup>	
	1 日 平 均	50,625 m <sup>3</sup>	49,974 m <sup>3</sup>	651 m <sup>3</sup>	
年 間 有 収 率	93.44 %	93.61 %	△ 0.17 <small>ポイ ント</small>		
県 水 受 水 量	4,615,870 m <sup>3</sup>	4,278,870 m <sup>3</sup>	337,000 m <sup>3</sup>	107.88 %	

※ 行政区域内人口(A)は、秦野市分のみ。  
 行政区域内人口(B)は、行政区域内人口(A)に松田町(湯の沢地区)分を加えたもの。  
 普及率は、「給水人口÷行政区域内人口(B)」で算出。

## (2) 事業収入に関する事項

## ア 事業収入

区 分	令和2年度		令和元年度		増 減 額
	金 額	構成比	金 額	構成比	
	円	%	円	%	円
1 営業収益	2,054,522,016	84.22	2,235,204,084	84.60	△180,682,068
1 給水収益	1,907,955,237	78.21	2,198,083,640	83.20	△290,128,403
2 受託給水工事収益	15,010,300	0.62	16,166,173	0.61	△1,155,873
3 その他の営業収益	131,556,479	5.39	20,954,271	0.79	110,602,208
2 営業外収益	384,912,156	15.77	405,651,195	15.36	△ 20,739,039
1 受取利息	594,571	0.03	439,247	0.02	155,324
2 補助金	1,796,000	0.07	1,864,000	0.07	△ 68,000
3 水道利用加入金	120,025,000	4.92	111,750,000	4.23	8,275,000
4 引当金戻入益	562,602	0.02	406,121	0.02	156,481
5 長期前受金戻入	204,544,174	8.38	203,379,969	7.70	1,164,205
6 雑収益	57,389,809	2.35	87,811,858	3.32	△30,422,049
3 特別利益	168,545	0.01	1,076,907	0.04	△908,362
1 固定資産売却益	19,000	0.00	982,570	0.04	△963,570
2 過年度損益修正益	149,545	0.01	94,337	0.00	55,208
合 計	2,439,602,717	100.00	2,641,932,186	100.00	△202,329,469

## イ 用途別給水収益・供給単価

用 途 別	給水収益	有収水量	給水戸数	1戸当たり 1か月平均 水道料金	1戸当たり 1か月平均 有収水量	1m <sup>3</sup> 当たり 平均単価 (供給単価)
	円	m <sup>3</sup>	戸	円	m <sup>3</sup>	円
一 般 用	1,900,325,424	18,419,405	78,098	2,028	19.65	103.17
農 業 用	7,530,103	58,545	187	3,356	26.09	128.62
臨 時 用	99,710	216	3	2,770	6.00	461.62
合 計	1,907,955,237	18,478,166	78,288	2,031	19.67	103.25

※ 給水戸数は、3月末現在。

ウ 口径・用途別給水収益・供給単価

(単位 戸・m<sup>3</sup>・円・円/m<sup>3</sup>)

口径	項目	用途				供給単価
		一般用	農業用	臨時用	計	
13mm	給水戸数	64,614	116	2	64,732	81.23
	有収水量	12,205,265	17,141	37	12,222,443	
	給水収益	990,859,598	1,950,133	27,395	992,837,126	
20mm	給水戸数	12,524	52	0	12,576	86.55
	有収水量	3,322,371	16,156	2	3,338,529	
	給水収益	287,101,296	1,858,413	1,100	288,960,809	
25mm	給水戸数	531	17	1	549	157.13
	有収水量	328,745	13,833	177	342,755	
	給水収益	51,892,820	1,893,355	71,215	53,857,390	
40mm	給水戸数	294	2	0	296	202.90
	有収水量	773,693	11,415	0	785,108	
	給水収益	157,469,379	1,828,202	0	159,297,581	
50mm	給水戸数	74	0	0	74	223.50
	有収水量	585,598	0	0	585,598	
	給水収益	130,878,745	0	0	130,878,745	
75mm	給水戸数	38	0	0	38	231.37
	有収水量	499,339	0	0	499,339	
	給水収益	115,531,471	0	0	115,531,471	
100mm	給水戸数	20	0	0	20	235.40
	有収水量	512,963	0	0	512,963	
	給水収益	120,752,541	0	0	120,752,541	
150mm	給水戸数	2	0	0	2	240.80
	有収水量	92,669	0	0	92,669	
	給水収益	22,314,821	0	0	22,314,821	
200mm	給水戸数	1	0	0	1	238.20
	有収水量	98,762	0	0	98,762	
	給水収益	23,524,753	0	0	23,524,753	
計	給水戸数	78,098	187	3	78,288	103.25
	有収水量	18,419,405	58,545	216	18,478,166	
	給水収益	1,900,325,424	7,530,103	99,710	1,907,955,237	

※ 給水戸数は、3月末現在。

(3) 事業費に関する事項  
ア 事業費用

区 分	令和2年度		令和元年度		増 減 額
	金 額	構成比	金 額	構成比	
	円	%	円	%	円
1 営業費用	2,190,713,125	94.00	2,291,259,406	93.99	△ 100,546,281
1 原水浄水費	799,884,887	34.32	803,215,840	32.95	△ 3,330,953
2 配水給水費	221,601,132	9.51	244,991,862	10.05	△ 23,390,730
3 受託工事費	8,754,115	0.38	17,668,491	0.73	△ 8,914,376
4 業務費	96,614,399	4.15	103,932,648	4.26	△ 7,318,249
5 総係費	149,960,189	6.43	145,821,457	5.98	4,138,732
6 減価償却費	862,347,326	37.00	863,651,400	35.43	△ 1,304,074
7 資産減耗費	51,551,077	2.21	111,977,708	4.59	△ 60,426,631
8 その他の営業費用	0	0.00	0	0.00	0
2 営業外費用	138,825,422	5.96	144,334,246	5.92	△ 5,508,824
1 支払利息及び 企業債取扱諸費	115,838,711	4.97	127,068,134	5.21	△ 11,229,423
2 雑支出	22,986,711	0.99	17,266,112	0.71	5,720,599
3 特別損失	942,810	0.04	2,126,495	0.09	△ 1,183,685
1 固定資産売却損	29,000	0.00	466,129	0.02	△ 437,129
2 過年度損益修正損	913,810	0.04	1,602,215	0.07	△ 688,405
3 減損損失	0	0.00	0	0.00	0
4 その他特別損失	0	0.00	58,151	0.00	△ 58,151
合 計	2,330,481,357	100.00	2,437,720,147	100.00	△ 107,238,790

イ 費用構成・給水原価

区 分	金 額	構成比	受託工事費、材料及 び不用品売却原価、 特別損失を除く金額	構成比	給水原価
	円	%	円	%	円
職員給与費 ※1	203,859,258	8.75	195,743,619	9.25	10.59
報酬	177,200	0.01	177,200	0.01	0.01
旅費	143,120	0.01	143,120	0.01	0.01
備消耗品費	4,771,493	0.21	4,601,017	0.22	0.25
燃料費	1,633,389	0.07	1,633,389	0.08	0.09
光熱水費	1,385,028	0.06	1,385,028	0.06	0.08
印刷製本費	383,787	0.02	366,787	0.02	0.02
通信運搬費	9,648,451	0.41	9,648,451	0.46	0.52
委託料	215,207,570	9.23	215,207,570	10.17	11.65
手数料	11,741,457	0.50	11,741,457	0.55	0.64
賃借料	7,304,638	0.31	7,033,438	0.33	0.38
修繕費	104,733,083	4.49	104,733,083	4.95	5.67
路面復旧費	5,868,000	0.25	5,868,000	0.28	0.32
動力費	177,205,271	7.60	177,205,271	8.37	9.59
薬品費	2,984,600	0.13	2,984,600	0.14	0.16
材料費	2,272,544	0.10	2,092,744	0.10	0.11
補償費	694,532	0.03	694,532	0.03	0.04
負担金	30,526,156	1.31	30,526,156	1.44	1.65
受水費	485,866,436	20.85	485,866,436	22.96	26.29
有形固定資産減価償却費	861,797,136	36.98	※2 665,634,976	31.45	36.02
固定資産除却費	51,246,551	2.20	※2 42,864,537	2.03	2.32
企業債利息	115,838,711	4.97	115,838,711	5.47	6.27
その他	35,192,946	1.51	34,250,136	1.62	1.85
合 計	2,330,481,357	100.00	2,116,240,258	100.00	114.53

※1 職員給与費は、一般職員及び会計年度任用職員の給料、手当等、法定福利費、退職給付金、引当金繰入額の合計額。

※2 給水原価算出に当たり、有形固定資産減価償却費及び固定資産除却費から長期前受金戻入見合いの金額(196,162,160円及び8,382,014円)を控除。

#### 4 会 計

##### (1) 重要契約の要旨

(契約金額 2,000万円以上)

契約年月日	契約金額(円)	契 約 の 内 容	契約の相手方
平成31.4.15	22,842,600	平成31年度水道事業水質検査委託業務（単価契約）（長期継続契約）	(株)総合環境分析
令和元.11.12	46,011,900	令和元年度戸川猿渡導水管改良工事（令和元年度建設改良繰越）	(有)ミツヨシ建設
令和2.4.1	83,449,757	令和2年度上下水道料金等業務包括委託業務	日本ウォーターテックス・BSNアイネット共同企業体
令和2.4.1	30,610,349	令和2年度漏水修理委託業務（単価契約）	秦野市管工事業協同組合
令和2.4.24	31,218,000	令和2年度水道事業水質検査委託業務（単価契約）（長期継続契約）	(株)総合環境分析
令和2.5.20	30,647,194	令和2年度検定満了量水器及び故障量水器取替委託業務（単価契約）	秦野市管工事業協同組合
令和2.6.9	87,890,000	令和2年度金井場配水場電気設備更新工事	明電プラントシステムズ(株)神奈川営業所
令和2.7.3	28,551,600	令和2年度柳川不動山導水管及び配水管改良工事	(株)興栄建設
令和2.7.7	31,058,500	令和2年度落合大久保導水管改良工事	(株)クズハ建設
令和2.8.4	32,364,310	令和2年度渋沢三丁目配水管改良工事(第1工区)	(株)菊正建設
令和2.9.11	31,432,830	令和2年度下大槻岩井戸送水管改良工事	(株)栗原建設
令和2.9.11	38,607,800	令和2年度下大槻穴見堂送水管改良工事	(株)水野建設
令和2.9.11	27,234,900	令和2年度南が丘一丁目配水管改良工事	(有)三貴建設
令和2.9.29	20,924,200	令和2年度南矢名四丁目配水管改良工事	三和建工(株)
令和2.10.13	25,456,200	令和2年度芹沢取水場整地工事	(有)三貴建設
令和2.10.14	49,280,000	令和2年度菖蒲天神下配水管改良工事（B箇所）	奈良建設(株)
令和2.10.15	44,926,200	令和2年度下大槻峰の下送水管改良工事	(株)クズハ建設
令和2.10.30	27,209,600	令和2年度堀山下大倉送水管改良工事	(株)成実産業
令和2.11.16	28,747,400	令和2年度沼代新町配水管改良工事	(株)関野建設
令和2.11.16	34,296,900	令和2年度千村三丁目配水管改良工事	(株)水野建設

(2) 企業債及び一時借入金の概要

ア 企業債

(単位 円)

借入先	前年度末残高	年度内増加額	年度内減少額	年度末残高
財務省財政融資資金	2,574,388,789	0	259,292,070	2,315,096,719
地方公共団体金融機構	4,395,629,477	440,800,000	230,283,688	4,606,145,789
神奈川県市町村振興資金	13,530,372	0	13,530,372	0
合計	6,983,548,638	440,800,000	503,106,130	6,921,242,508

※ 地方公共団体金融機構は、旧公営企業金融公庫を含む。

イ 一時借入金  
なし

(3) その他会計経理に関する重要事項

ア 基金

(ア) 水道事業基金

(単位 円)

区分	前年度末残高	年度内増加額	年度内減少額	年度末残高
現金	481,548,942	185,368	0	481,734,310

(イ) 職員退職給与準備基金

(単位 円)

区分	前年度末残高	年度内増加額	年度内減少額	年度末残高
現金	40,329,035	10,013,961	21,386,915	28,956,081

イ 出資金

(ア) 地方公共団体金融機構出資金

(単位 円)

区分	前年度末残高	年度内増加額	年度内減少額	年度末残高
出資金	1,744,000	0	0	1,744,000

ウ その他投資

(ア) 賃貸用資産

(単位 円)

区分	前年度末残高	年度内増加額	年度内減少額	年度末残高
その他投資	0	400,970,600	0	400,970,600

5 その他

(1) 決算日後に生じた企業の状況に関する重要な事項

なし